

令和7年度 主要事業点検評価表

1	ソフト事業
---	-------

事業名		教育ビジョン策定							
予 算 科 目	会計	01	一般会計			作成部署	014300 教育課		
	款	09	教育費			連絡先(内線又は電話番号)	学校教育班 81-3906		
	項	01	教育総務費						
	目	02	事務局費						
事業 の 目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)					
	子どもたちがかかわる地域全体			町民と共に、どんなに社会が変化しても変わらない価値があるもの、いわゆる「不易」を大切にしつつ、社会の変化にしなやかに対応する必要があるもの、いわゆる「流行」を見極めながら、明日の中井を担う人づくりを進めるために総合的な指針となる「なかい教育ビジョン」を策定する。					
事業 の 内容	町における教育施策の総合的な指針となる「なかい教育ビジョン」の策定								
	本編	100部							
	概要版	200部							
事業費等の推移(千円)		R5	R6		R7		根拠法令等		
		決算額	決算額	伸率	決算見込額	伸率	事業開始年度 平成7年度		
直接事業費					2,783		事業実施主体 (町)		
職員人件費									
事業費合計		0	0		2,783		事業実施手法 直営		
財 源 内 訳	国県支出金						事業の実績		
	地方債						児童生徒数		
	その他特財						経費		
	一般財源	0	0		2,783		中井町の人口		
担当職員	職員数	0.00人	0.00人		0.00人		R6実績		
	嘱託・臨時	0.00人	0.00人		0.00人		R7実績		
成 果 指 標									
区分	事業の成果を測る指標		指標設定の考え方			単位	実績指標値	目標指数	
						R6	R7	設定年度 設定指数	
①	児童生徒1人あたりの単位コスト ($\frac{\text{事業費}}{\text{児童生徒数}}$)		児童生徒1人あたりに対する事業費を示す。			円	0 (0) (499)	5,738 (2,783,000) (485)	目標指数の設定は困難
②	町民1人あたりのコスト ($\frac{\text{事業費}}{\text{中井町の人口}}$)		町民1人あたりが事業費に負担している金額を示す。			円	0 (0) (8,912)	314 (2,783,000) (8,861)	目標指数の設定は困難
事業開始からの状況変化					近隣地方公共団体の類似事業の状況				
これまでの「中井の教育」を継承しつつ、これからの時代に適応できる新たな理念を示すため、総合計画との関連性により令和8年度から10年間を見据えた教育施策の総合的な指針を示すため、令和7年度に策定。具体的な施策及び事業については「教育大綱」及び「中井の教育」に位置づける。					近隣団体においても、類似事業の実施がされている。				
評価項目		評点	自己評価			教育委員評価			
妥当性(有効性)		4/5	教育ビジョンを策定し、教育施策の総合的な指針を示したことにより、今後10年間の施策及び事業に取り組むスタートラインとして、今後の教育施策に有効なものとなる。			人口減少や少子高齢化、グローバル化やデジタル化等社会が急速に変化する中、里都まち教育という町独自のプランにより、地域全体で町の子どもたちを育てることを意識した教育ビジョンが策定されたことにより、今後の町の教育施策の充実に期待したい。			
達成度		4/5							
効率性		4/5							
総合評価		A (A.B.C三段階評価)							
これまでに実施した改善点									
今後実施すべき改善点		教育ビジョン自体は、今後10年間の教育施策の指針となるものだが、それに紐づく教育大綱、中井の教育における施策や事業については、社会の変化に柔軟に対応することで、里都まち教育を進めていくことが大切となる。							

令和7年度 主要事業点検評価表

1	ソフト事業
---	-------

事業名		外国人講師設置事業							
予算科目目	会計	01 一般会計				作成部署	014300 教育課		
	款	09 教育費				連絡先(内線又は電話番号)	学校教育班 81-3906		
	項	01 教育総務費							
	目	02 事務局費							
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)					
	町内小学校・中学校の児童・生徒			ALT(外国語指導助手)を小学校に配置し、コミュニケーション能力の向上や国際理解を深めることで英語教育の充実に努める。					
事業の内容	ALT(外国語指導助手)を各小中学校に配置。 井ノ口小学校(週2日)、中村小学校(週2日)、中井中学校(週5日) 小学生5年生～6年生 年間70時間(内ALT配置時間70時間) 中学生1年生～3年生 年間140時間(内ALT配置時間70時間)								
事業費等の推移(千円)		R5	R6		R7		根拠法令等		
		決算額	決算額	伸率	決算見込額	伸率	事業開始年度 平成8年度		
直接事業費		9,351	9,740	4.2%	9,988	2.5%	事業実施主体 (町)		
職員人件費									
事業費合計		9,351	9,740	4.2%	9,988	2.5%		事業実施手法 直営	
財源内訳	国県支出金						事業の実績		
	地方債						児童生徒数		
	その他特財						経費		
	一般財源		9,351	9,740	4.2%	9,988	2.5%	中井町の人口	
担当職員	職員数		0.00人	0.00人		0.00人			
	嘱託・臨時		2.00人	2.00人		2.00人			
成果指標									
区分	事業の成果を測る指標		指標設定の考え方			単位	実績指標値	目標指数	
							R6	R7	設定年度 設定指数
①	児童生徒1人あたりの単位コスト ($\frac{\text{事業費}}{\text{児童生徒数}}$)		児童生徒1人あたりに対する事業費を示す。			円	19,519 ($\frac{9,740,000}{499}$)	20,594 ($\frac{9,988,000}{485}$)	目標指数の設定は困難
②	町民1人あたりのコスト ($\frac{\text{事業費}}{\text{中井町の人口}}$)		町民1人あたりが事業費に負担している金額を示す。			円	1,093 ($\frac{9,740,000}{8,912}$)	1,127 ($\frac{9,988,000}{8,861}$)	目標指数の設定は困難
事業開始からの状況変化					近隣地方公共団体の類似事業の状況				
事業開始年から20年以上が経過している。小学校の英語の教科化等により、ALTの活用がより一層重要度を増している。こども園における外国語活動については、町内外国籍支援者により月2回(1回2時間)外国語活動を実施している。					近隣団体においても、類似事業の実施がされている。				
評価項目	評点	自己評価				教育委員評価			
妥当性(有効性)	4/5	小学校では、日常的にALTとの交流が行われ、授業以外でも子どもたちが英語でのコミュニケーションをとる機会が増えている。また、ALTが参加して英語の授業参観と研究協議を実施し、小・中連携を意識した英語の授業づくりを推進するなど、児童・生徒の英語力向上に非常に効果があがっている。				実践的コミュニケーション能力の育成には、外国人講師による生きた語学指導は不可欠であることから、引き続き外国語活動を推進し、国際理解教育への発展を期待したい。			
達成度	4/5								
効率性	4/5								
総合評価		A (A.B.C三段階評価)							
これまでに実施した改善点		町直接雇用によるALT2名を継続雇用し、英語教育の推進強化を図った。							
今後実施すべき改善点		英語を通じたコミュニケーション力の向上、英語専科教員による専門性の高い授業実践ができた。日常的に児童生徒が、英語でのコミュニケーションができる場や環境の設定に取り組んでいく。近隣では1校1名のALTを配置している自治体が増えていることもあり、各校1名配置することで国際感覚を養いたい。							

令和7年度 主要事業点検評価表

3 ソフト事業

事業名		学校生活支援事業										
予算科目目	会計	O1 一般会計				作成部署 014300 教育課						
	款	O9 教育費				連絡先(内線又は電話番号) 学校教育班 81-3906						
	項	O1 教育総務費										
	目	O2 事務局費										
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)							
	町内の小学校・中学校の児童生徒				学習・生活面にサポートが必要な児童・生徒に対し、学習支援者・介助員等を配置し、教員が児童・生徒と向き合う時間を確保できるようサポート体制の充実を図る。							
事業の内容	配慮を必要としている児童生徒に対して学校生活でのサポートを行い、充実した学校生活が送れるように努めている。 学習支援者 2名(中村小1名、井ノ口小1名) 介助員 7名(中村小2名、井ノ口小3名、中井中2名)											
事業費等の推移(千円)	R5		R6		R7		根拠法令等					
	決算額	決算額	仲率	決算見込額	仲率	事業開始年度	平成 年度					
	直接事業費	6,585	7,847	19.2%	12,534	59.7%	事業実施主体	町 ()				
	職員人件費						事業実施手法	直営				
	事業費合計	6,585	7,847	19.2%	12,534	59.7%	事業の実績		単位	R6実績	R7実績	
	財源内訳	国県支出金					児童生徒数	人	499	485		
		地方債					経費	千円	7,847	12,534		
		その他特財					中井町の人口	人	8,912	8,861		
		一般財源	6,585	7,847	19.2%	12,534	59.7%					
	担当職員	職員数	0.00人	0.00人	0.00人							
	嘱託・臨時	9.00人	9.00人	9.00人								
成果指標												
区分	事業の成果を測る指標			指標設定の考え方			単位	実績指標値		目標指数		
①	児童生徒1人あたりの単位コスト ($\frac{\text{事業費}}{\text{児童生徒数}}$)			児童生徒1人当たりに対する事業費を示す。			円	R6	15,725	R7	25,843	目標指数の設定は困難
								($\frac{7,847,000}{499}$)	($\frac{12,534,000}{485}$)			
②	町民1人あたりのコスト ($\frac{\text{事業費}}{\text{中井町の人口}}$)			町民1人あたりが事業費に負担している金額を示す。			円	R6	880	R7	1,415	目標指数の設定は困難
								($\frac{7,847,000}{8,912}$)	($\frac{12,534,000}{8,861}$)			
事業開始からの状況変化						近隣地方公共団体の類似事業の状況						
支援が必要な児童生徒は増加傾向にある。介助員については、配置基準に基づき支援が必要な児童・生徒5名につき1名を配置している。 ※令和6年度に「外国につながるの児童・生徒支援事業」を新設したため、日本語指導員に係る費用を移行している。						近隣団体においても、類似事業の実施がされている。						
評価項目	評点	自己評価				教育委員評価						
妥当性(有効性)	4/5	対象となる児童・生徒一人ひとりの発達段階を理解し、円滑な学校生活を送ることができるよう適切な支援を行うことができた。				支援を必要としている児童生徒が増加傾向にある中で、井ノ口小、中井中において各1名を増員し支援の充実を図ったことは評価に値する。今後も各学校のニーズに合わせて適切な人員配置に努めていただきたい。						
達成度	4/5											
効率性	4/5											
総合評価	A (A.B.C三段階評価)											
これまでに実施した改善点	支援の充実を図るため、介助員については井ノ口小1名、中井中1名を増員し、全体で7名とした。											
今後実施すべき改善点	支援を必要としている児童生徒の把握と、各学校におけるニーズに合わせて適切な人員配置に努める。											

令和7年度 主要事業点検評価表

3	ソフト事業
---	-------

事業名		外国につながるのがある児童・生徒支援事業							
予算科目目	会計	O1 一般会計				作成部署 014300 教育課			
	款	O9 教育費				連絡先(内線又は電話番号) 学校教育班 81-3906			
	項	O1 教育総務費							
	目	O2 事務局費							
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)				
	町内の小学校・中学校の児童生徒				学習・生活面にサポートが必要な児童・生徒に対し、日本語指導員・日本語学習支援者を配置するとともに、保護者との面談や連絡調整のために通訳者を派遣し、教員が児童・生徒と向き合う時間を確保できるようサポート体制の充実を図る。				
事業の内容	増加傾向にある外国につながるのがある児童・生徒へ日本語指導を行うため、日本語指導員及び有償ボランティアの日本語学習支援者を配置している。また、外国につながるのがある児童・生徒の保護者との面談や連絡の支援のため、通訳者を派遣するなど、きめ細かな支援体制を充実させている。 日本語指導が必要な児童・生徒数 R7 中村小学校 5人、井ノ口小学校 14人、中井中学校 14人 R6 中村小学校 5人、井ノ口小学校 9人、中井中学校 10人								
事業費等の推移(千円)	R5		R6		R7		根拠法令等		
	決算額		決算額		決算見込額		事業開始年度		平成 年度
	4,284		5,964		6,822		事業実施主体		町
	39.2%		39.2%		14.4%		事業実施手法		直営
	6,822		6,822		14.4%		事業の実績		単位
	220		220		220		児童生徒数		人
	1,610		1,610		1,610		経費		千円
	4,284		4,354		6,602		中井町の人口		人
	0.00人		0.00人		0.00人		R6実績		499
	9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		485
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		5,964	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		6,822	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	
9.00人		9.00人		9.00人		R7実績		8,861	
9.00人		9.00人		9.00人		R6実績		8,912	

令和7年度 主要事業点検評価表

3 ソフト事業

事業名		部活動指導員設置事業									
予算科目目	会計	O1 一般会計				作成部署	014300 教育課				
	款	O9 教育費				連絡先(内線又は電話番号)	学校教育班 81-3906				
	項	O4 中学校費									
	目	O1 中井中学校管理費									
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)						
	町内の中学校の生徒				中学校と地域の連携により、休日の部活動に地域人材を活用した指導員を配置し、教員の働き方改革を推進するとともに、段階的な部活動の地域移行を推進するための体制づくりを図った。						
事業の内容	中学校の段階的な部活動の地域移行を推進するため、部活動指導員を配置する。 指導員配置部活動 男子ソフトテニス部、女子ソフトテニス部、女子卓球部、男子バレーボール部、吹奏楽部										
事業費等の推移(千円)	R5		R6		R7		根拠法令等				
	決算額		決算額		決算見込額		事業開始年度		令和6年度		
			2,346		1,437		-38.7%		事業実施主体		
	直接事業費								町		
	職員人件費								()		
	事業費合計		0		2,346		1,437		-38.7%		
	事業実施手法								直営		
	財源内訳	国県支出金			816		876		事業の実績		
		地方債							単位	R6実績	
		その他特財							児童生徒数	人	
一般財源		0		1,530		561		-63.3%	経費		
児童生徒数							千円		2,346		
中井町の人口							人		8,912		
職員数	0.00人		0.00人		0.00人				R7実績		
嘱託・臨時	9.00人		9.00人		9.00人				499		
									1,437		
									8,861		
成果指標					実績指標値		目標指数				
区分	事業の成果を測る指標			指標設定の考え方			単位	R6	R7	設定年度	設定指数
①	児童生徒1人あたりの単位コスト $\left(\frac{\text{事業費}}{\text{児童生徒数}} \right)$			児童生徒1人当たりに対する事業費を示す。			円	4,701	2,963	目標指数の設定は困難	
								$\left(\frac{2,346,000}{499} \right)$	$\left(\frac{1,437,000}{485} \right)$		
②	町民1人あたりのコスト $\left(\frac{\text{事業費}}{\text{中井町の人口}} \right)$			町民1人あたりが事業費に負担している金額を示す。			円	263	162	目標指数の設定は困難	
								$\left(\frac{2,346,000}{8,912} \right)$	$\left(\frac{1,437,000}{8,861} \right)$		
事業開始からの状況変化					近隣地方公共団体の類似事業の状況						
					近隣団体においても、類似事業の実施がされている。						
評価項目	評点	自己評価					教育委員評価				
妥当性(有効性)	4/5	中学校では、全ての部活動が地域移行を希望しているが、指導員の受け手がなく苦慮している。現在配置できているのは5部活動に留まっており、地域との連携を深めることにより、事業の推進を図っていきたい。					教員の働き方改革を進めるためにも、地域移行を推進していただきたい。地域クラブの発足により、指導者の登録が増えることに期待したい。				
達成度	3/5										
効率性	3/5										
総合評価	B (A.B.C三段階評価)										
これまでに実施した改善点	地域展開に向けて、地域クラブ推進協議会を立ち上げた。										
今後実施すべき改善点	地域クラブと連携し、順次各部活動を地域移行する。										

令和7年度 主要事業点検評価表

4	ハード事業
---	-------

事業名		学校環境整備事業									
予算科目	会計	O1 一般会計				作成部署	014300 教育課				
	款	O9 教育費				連絡先(内線又は電話番号)	学校教育班 81-3906				
	項	O2 中村小学校費、03井ノ口小学校費、04中村小学校費									
	目	O1 学校管理費									
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)						
	町内の各小学校・中学校教育環境施設整備。				小中学校施設の整備を進め、安全で快適な学習環境の向上に努める。						
事業の内容	R7年度の主な工事										
	中村小学校……EVリニューアル工事等				30,853千円						
井ノ口小学校……アスベスト撤去工事等				2,407千円							
中井中学校……A棟中央階段手摺設置工事等				4,356千円							
屋内運動場空調設備設置等工事 (R7は実施設計)				15,895千円							
		R5	R6		R7		根拠法令等				
		決算額	決算額	伸率	決算見込額	伸率	事業開始年度	平成 年度			
直接事業費		44,005	84,763	92.6%	57,437	-32.2%	事業実施主体				
職員人件費							()				
事業費合計		44,005	84,763	92.6%	57,437	-32.2%	事業実施手法				
財源内訳		13,310	25,184		6,457		事業の実績				
国県支出金							単位	R6実績	R7実績		
地方債							児童生徒数	人	499		
その他特財							経費	千円	84,763		
一般財源		30,695	59,579	94.1%	50,980	-14.4%	中井町の人口	人	8,912		
担当職員		0.00人	0.00人		0.00人						
嘱託・臨時		0.00人	0.00人		0.00人						
成果指標							実績指標値		目標指数		
区分	事業の成果を測る指標			指標設定の考え方			単位	R6	R7	設定年度	設定指数
①	児童生徒1人あたりの単位コスト ($\frac{\text{事業費}}{\text{児童生徒数}}$)			児童生徒1人当たりに対する事業費を示す。			円	169,866 ($\frac{84,763,000}{499}$)	118,427 ($\frac{57,437,000}{485}$)	目標指数の設定は困難	
②	町民1人あたりのコスト ($\frac{\text{事業費}}{\text{中井町の人口}}$)			町民1人あたりが事業費に負担している金額を示す。			円	9,511 ($\frac{84,763,000}{8,912}$)	6,482 ($\frac{57,437,000}{8,861}$)	目標指数の設定は困難	
事業開始からの状況変化						近隣地方公共団体の類似事業の状況					
学校施設の老朽化が進んでいるが、きめ細やかに対応することで教育環境が維持されている。						近隣団体においても、類似事業の実施がされている。					
評価項目	評点	自己評価					教育委員評価				
妥当性 (有効性)	4/5	老朽化が進む中で、学校施設維持管理整備は予算も厳しいこともあり、必要とされている整備・改修が十分に進められていないが、限られた予算の範囲内で施設整備の優先箇所を決め、教育環境整備を実施している。 また、熱中症対策及び避難所期の強化のため、各学校の体育館へ空調機を設置することとし、令和7年度は実施設計を行った。					安全で快適な学校環境の整備は不可欠である。中長期的な計画性をもって事業を継続していただきたい。また、学校の要望に沿った施設整備についてもお願いしたい。				
達成度	3/5										
効率性	3/5										
総合評価		B (A.B.C三段階評価)									
これまでに実施した改善点		町公共施設情寿命化計画に基づく大規模改修や予防改修等、学校施設の整備を計画的に進め、安全で快適な学習環境の向上に努めた。									
今後実施すべき改善点		計画的な施設整備を進め、教育環境の充実を図る。									

令和7年度 主要事業点検評価表

5 ソフト事業

事業名		ICT支援事業					
予算科目	会計	01 一般会計			作成部署 014300 教育課		
	款	09 教育費			連絡先(内線又は電話番号) 学校教育班 81-3906		
	項	02 中村小学校費、03井ノ口小学校費、04中村小学校費					
	目	01 学校管理費					
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	町内の各小学校・中学校「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた情報通信技術の活用を支援を行う。			情報通信技術の活用を支援するため、ICT支援員による操作支援をはじめとする各種支援及び通信環境の整備を行う。			
事業の内容	町内小中学校へカリキュラム・コーディネーターを派遣。また、令和2年度に整備した端末や校内LANの保守点検を実施。 校務支援システムの端末およびシステムの更新を行い、校務の効率化を図った。 大型提示装置（電子黒板）9台の新規購入により、既存9台と併せて18台となり、各学級で電子黒板を使用した授業が可能となった。						
財源内訳		R5	R6		R7		根拠法令等
		決算額	決算額	仲率	決算見込額	仲率	事業開始年度 平成 年度
	直接事業費	17,512	14,239	-18.7%	21,579	51.5%	事業実施主体 町
	職員人件費						()
	事業費合計	17,512	14,239	-18.7%	21,579	51.5%	事業実施手法 直営
	財源	国県支出金	1,066				事業の実績
	内訳	地方債					単位
		その他特財					R6実績
		一般財源	16,446	14,239	-13.4%	21,579	51.5%
	担当職員	職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	児童生徒数
職員	嘱託・臨時	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	経費	
						千円	
						中井町の人口	
						人	
						人	
						499	
						485	
						14,239	
						21,579	
						8,912	
						8,861	
成果指標							
区分	事業の成果を測る指標		指標設定の考え方			単位	実績指標値
							R6
							R7
							設定年度
							設定指数
①	児童生徒1人あたりの単位コスト ($\frac{\text{事業費}}{\text{児童生徒数}}$)		児童生徒1人当たりに対する事業費を示す。			円	28,535
							($\frac{14,239,000}{499}$)
							($\frac{21,579,000}{485}$)
							目標指数の設定は困難
②	町民1人あたりのコスト ($\frac{\text{事業費}}{\text{中井町の人口}}$)		町民1人あたりが事業費に負担している金額を示す。			円	1,598
							($\frac{14,239,000}{8,912}$)
							($\frac{21,579,000}{8,861}$)
							目標指数の設定は困難
事業開始からの状況変化				近隣地方公共団体の類似事業の状況			
ICT支援員による操作支援から、カリキュラム・コーディネーターによる活用支援となり、授業での活用が大幅に増えている。				近隣団体においても、類似事業の実施がされている。			
評価項目	評点	自己評価			教育委員評価		
妥当性(有効性)	3/5	GIGAスクール構想により配置された1人1台端末を活用した授業づくりが積極的に行われた。プログラミング教育の充実を図るため、研修等を実施し教員の理解を深め、指導力の向上に努めることができた。			1人1台端末を活用した授業が推進されている。効果的な端末の活用促進のため、ICT研修を実施するなど、教員の指導力の向上に努めていただきたい。今後ますます情報化社会が進んでいくと思われるため、児童・生徒が更に理解が深められるよう、引き続き最適な授業づくりを実施していただきたい。		
達成度	3/5	また、大型提示装置（電子黒板）9台の新規購入により、既存のもの合わせて18台となり、各学級で電子黒板を使用した授業が可能となった。					
効率性	4/5						
総合評価		B (A.B.C三段階評価)					
これまでに実施した改善点	ICTを活用した授業づくりに、小中学校の工夫により積極的に取り組むことができた。また、園・各校の授業研究会に指導主事が参加し、ICTの活用を中心とした指導や助言を行うことができた。						
今後実施すべき改善点	計画的な周辺機器整備を進め、情報教育・ICT環境の充実を図る。プログラミング教育に関する授業研究を更に推進していく。						

令和7年度 主要事業点検評価表

2	ソフト事業
---	-------

事業名		学校給食費無償化事業											
予算科目目	会計	O1 一般会計					作成部署	014300 教育課					
	款	O9 教育費					連絡先(内線又は電話番号)	学校教育班 81-3906					
	項	O6 教育総務費											
	目	O2 事務局費											
事業の目的	対象(誰を・何を)					意図(どういう状態にしたいのか)							
	町内の小学校・中学校の児童・生徒の保護者					次代を担う子どもの成長と子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、町内の小・中学生の給食費を完全無償化した。							
事業の内容	学校給食費の補助（H27年度からの事業）												
	小学生 給食費5,500円（月額）、中学生 給食費6,300円（月額）に対して全額を補助 対象児童生徒数（R7） 中村小学校 127人、井ノ口小学校 179人、中井中学校 179人 対象児童生徒数（R6） 中村小学校 124人、井ノ口小学校 181人、中井中学校 194人												
事業費等の推移(千円)			R5		R6		R7		根拠法令等				
			決算額	決算額	仲率	決算見込額	仲率	事業開始年度		平成27年度			
	直接事業費		35,267	35,257	0.0%	35,822	1.6%	事業実施主体		町			
	職員人件費							事業実施手法		直営			
	事業費合計		35,267	35,257	0.0%	35,822	1.6%	事業の実績		単位	R6実績	R7実績	
	財源内訳	国県支出金						児童生徒数		人	499	485	
		地方債						経費		千円	35,257	35,822	
		その他特財			4,414		4,219	中井町の人口		人	8,912	8,861	
	担当職員	職員数		0.00人		0.00人							
		嘱託・臨時		0.00人		0.00人							
成果指標													
区分	事業の成果を測る指標				指標設定の考え方				単位	実績指標値		目標指数	
										R6	R7	設定年度	設定指数
①	児童生徒1人あたりの単位コスト ($\frac{\text{事業費}}{\text{児童生徒数}}$)				児童生徒1人当たりに対する事業費を示す。				円	70,655 ($\frac{35,257,000}{499}$)	73,860 ($\frac{35,822,000}{485}$)	目標指数の設定は困難	
②	町民1人あたりのコスト ($\frac{\text{事業費}}{\text{中井町の人口}}$)				町民1人あたりが事業費に負担している金額を示す。				円	3,956 ($\frac{35,257,000}{8,912}$)	4,043 ($\frac{35,822,000}{8,861}$)	目標指数の設定は困難	
事業開始からの状況変化						近隣地方公共団体の類似事業の状況							
児童生徒の減少が進行しており、提供する食数は年々減少している。 不安定な世界情勢など様々な理由により、食材の価格が高騰している。						給食費の一部補助を実施している自治体は多くあるが、完全無償化を実施している自治体は、全国的にみても限られている。							
評価項目	評点	自己評価					教育委員評価						
妥当性(有効性)	4/5	平成27年度から開始した事業であるが、平成28年度からは町単独事業費として実施している。子育て家庭の経済的負担の軽減のため、令和2年度から中学生の全額無償化、令和4年度から小学生の全額無償化を実施したことは評価できると考える。					令和4年度からの全学年給食費無償化や令和5年度からの公会計化により、児童・生徒の保護者の負担や教職員の負担軽減にも資することができ、大変評価できる。 安全な給食を提供するとともに、限られた財源の中でも保護者の経済的な負担軽減を引き続き図っていただきたい。						
達成度	5/5												
効率性	4/5												
総合評価		A (A.B.C三段階評価)											
これまでに実施した改善点		子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、小学生の補助額を月額300円から700円に、中学生の全額無償化を実施し、令和4年度からは小学生の補助額も全額無償化を実施、令和5年度からは給食会計の公会計化を実施した。											
今後実施すべき改善点		学校給食費完全無償及び公会計は今後も継続していく。											

令和7年度 主要事業点検評価表

6 ソフト事業

事業名		読書活動推進事業									
予算科目	会計	01	一般会計				作成部署	生涯学習課			
	款	09	教育費				連絡先(内線又は電話番号)	生涯学習班 81-3907			
	項	01	教育総務費								
	目	02	事務局費								
事業の目的	対象(誰を・何を)					意図(どういう状態にしたいのか)					
	子どもたちが読書を通じて言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにすることは、人生をより深く生きる力を身につけていくうえで欠くことのできないものであり、社会全体で子どもたちの読書推進を図っていく。					次代を担う子どもたちがかけがえのない一冊の本と出会い、豊かな人間性と確かな生きる力を身につけることを願い、生涯にわたって豊かな人生を送ることができるよう、成長に応じて読書に親しみ、楽しめる体験をつくるなど、読書が日常習慣となるような取り組みを推進する。					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標語・ポスターコンクールを実施し、優秀作品を「読書の日のつどい」で表彰する。 ・ 町内の関係者からなる読書活動推進会議を年2回開催し、読書推進に向けた取り組みなど情報交換を行う。 ・ こども園、小・中学校、改善センター、公民館の図書室へ図書司書を配置。 ・ 中井町立図書室公式SNS (X、Instagram) の開設 ・ 図書室通信 (2025年夏号、秋号、冬号、2026年春号) 発行、中高生向け広報紙「B (びー)」創刊発行 ・ 中村小学校2年生図書室施設見学 (R7.12) 										
事業費等の推移(千円)	R5		R6		R7		根拠法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律			
	決算額	決算額	仲率	決算見込額	仲率	事業開始年度	平成15年度				
直接事業費	8,425	13,515	60.4%	17,524	29.7%	事業実施主体	町				
職員人件費						事業実施手法	直営				
事業費合計	8,425	13,515	60.4%	17,524	29.7%	事業の実績		単位	R6実績	R7実績	
財源内訳	国県支出金					中井町の人口	人	8,912	8,861		
	地方債					事業費	千円	13,515	17,524		
	その他特財					小学校児童数	人				
一般財源	8,425	13,515	60.4%	17,524	29.7%	中学校生徒数	人				
担当職員	職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	学校図書室貸出冊数	冊				
嘱託・臨時	嘱託・臨時	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人						
成果指標											
区分	事業の成果を測る指標				指標設定の考え方		単位	実績指標値		目標指数	
								R6	R7	設定年度 設定指数	
①	町民1人あたりのコスト ($\frac{\text{事業費}}{\text{中井町の人口}}$)				町民1人あたりが事業費に負担している金額を示す。		円	945 ($\frac{8,425,000}{8,912}$)	1,978 ($\frac{17,524,000}{8,861}$)	目標設定は困難	
②	()						円	()	()		
事業開始からの状況変化											
子どもが読書に親しむことができるよう、学校図書司書を各小学校に週2日、中学校に週1日配置することで明るく落ち着いた図書室の整備や書架の除籍、学習に関連のある本の選書など図書室が居心地よく、児童生徒が足を運びたくなる学校図書室づくりに努めている。						同級他団体でも1校につき1人の学校図書司書配置はできていない。					
評価項目	評点	自己評価				教育委員評価					
妥当性(有効性)	5/5	園・学校において読書ボランティア活動が継続して行われるなど効果が表れている。また、図書司書を通じて園・学校・学童保育などへの団体貸出を行い読書推進が図られた。				本が大好きな「中井っ子」を育むため、引き続き図書司書を配置するとともに、学校・家庭・地域・教育委員会の連携を強化し、全町的な読書活動を推進していただきたい。また、改善センター及び井ノ口公民館図書室の利用環境充実に向けた居心地のよい図書室、入ってみたくなる図書室の取り組みを進めていただきたい。					
達成度	3/5	図書室への専門職(司書)の配置は、読書に親しむ環境づくりに寄与している。									
効率性	4/5	中井町読書の日に合わせて読書活動推進標語・ポスターコンクール表彰式を行い、読書に対する意識を高めることができた。									
総合評価		A(A.B.C三段階評価)									
これまでに実施した改善点		<ul style="list-style-type: none"> ・ なかいこども園…年齢に応じた「絵本コーナーの設置」、「保護者への絵本の貸し出し」、「読み聞かせボランティア」、幼児クラス毎月1回「絵本の日」設定、保育室内に「小さな絵本コーナー」設置 ・ 小学校…大型絵本による低学年への読み聞かせ、借りた本の数だけ進める「読書すごろく」、朝の読書タイム、読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、学級文庫の充実 ・ 中学校…おススメ本の紹介(ポップ作り)、古本市の開催、テスト期間の勉強スペース開放 									
今後実施すべき改善点		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書室におけるWi-Fi環境の充実…現在3校の図書室のうち1校のみwi-fi整備済、情報センターとして脆弱さがある。タブレットを活用した授業も展開されており学習場所として選択されにくい状況 ・ 図書館システムの共同利用(図書館DX)…複数の図書館が同じ図書館システムを活用することで、業務の効率化だけでなく、蔵書やデータの管理が容易になる。公共図書館と学校図書室のシステム連携は利用率向上や地域活性化、読書環境の整備や学習支援の強化とともに読書活動推進に直結する。 									

令和7年度 主要事業点検評価表

9 ソフト事業

事業名		文化財保護事業													
予算科目	会計	01 一般会計				作成部署		生涯学習課							
	款	09 教育費				連絡先(内線又は電話番号)		生涯学習班 81-3907							
	項	05 社会教育費													
	目	01 社会教育総務費													
事業の目的	対象(誰を・何を)					意図(どういう状態にしたいのか)									
	町民全員 町内に点在する文化遺産の保護					地域の歴史・文化資源の再発見、再認識する機会などを通して、町民の郷土に対する関心を高め、文化のまちづくりにつなげる。									
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 町内の文化財をめぐる「なかい文化財めぐりウォーキング」を実施し、健康増進も兼ね、文化財保護の意識を高める。 文化財の保存や公開を行う。 地域の歴史・文化資源の調査・研究を行う。 														
事業費等の推移(千円)	R5		R6		R7		根拠法令等	文化財保護法、県文化財保護条例、							
	決算額		決算額		仲率		事業開始年度	昭和49年以前							
	2,043		1,963		-3.9%		2,835		44.4%		事業実施主体				
	直接事業費										町				
	職員人件費										()				
	事業費合計		2,043		1,963		-3.9%		2,835		44.4%				
	財源内訳	国県支出金										事業の実績			
		地方債										単位			
		その他特財										R6実績			
		一般財源		2,043		1,963		-3.9%		2,835		44.4%			
担当職員	職員数		1.00人		1.00人		1.00人				R7実績				
嘱託・臨時	1.00人		1.00人		1.00人		1.00人				中井町の人口				
										人					
										8,912					
										ウォーキング参加者数					
										人					
										14					
										20					
										事業費					
										千円					
										1,963					
										2,835					
成果指標															
区分	事業の成果を測る指標				指標設定の考え方				単位	実績指標値		目標指数			
										R6		R7		設定年度	設定指数
①	町民1人あたりのコスト				町民1人あたりに対する事業費を示す。				円	220		320		目標設定は困難	
	$\left(\frac{\text{事業費}}{\text{中井町の人口}} \right)$									$\left(\frac{1,963,000}{8,912} \right)$		$\left(\frac{2,835,000}{8,861} \right)$			
②	$\left(\frac{\text{事業費}}{\text{中井町の人口}} \right)$								円						
事業開始からの状況変化						近隣地方公共団体の類似事業の状況									
年月が流れるに従い、必然的に文化資源の劣化などが生じており、後世に引き継ぐ体制を整える必要がある。						近隣市町においても、類似事業を実施している。									
評価項目	評点	自己評価				教育委員評価									
妥当性(有効性)	4/5	町民の郷土に対する関心を高めるための対策として、今年度は例年の継続事業である「なかい文化財めぐりウォーキング」を実施したところ、20人の出席があった。アンケート結果も、知らないところに行くことができ、文化財の説明が分かりやすかったという声が多数挙がっていた。また、えんじゅの木保存業務、デジタル郷土資料館業務、五所八幡宮祭礼記録作成調査を実施した。				町の文化を継承していくためには、日ごろの調査・保存・継承などの地道な活動が大切なので、引き続き、文化財保護の事業を実施していくことは必要である。なお、県指定天然記念物中井のえんじゅの保存修理にあたっては、地元自治会、県及び樹木医など関係者ともよく調整し、保存計画を策定し実施していただきたい。									
達成度	4/5														
効率性	4/5														
総合評価		A(A.B.C三段階評価)													
これまでに実施した改善点		<ul style="list-style-type: none"> 町民の地域の歴史・文化資源に対する関心を高めるため、事業の周知方法の改善や歴史・文化資源を広報紙に掲載するなど、町民への情報発信を行った。 デジタル郷土資料館を更新した。 県指定天然記念物中井のえんじゅについて、樹木医によるワイヤー締め直しや定期的な点検やメンテナンスを開始した。 													
今後実施すべき改善点		<ul style="list-style-type: none"> 10名の専門家からなる五所八幡宮祭礼記録作成調査委員会の調査期間は3年間を予定しているが、2年目は祭礼内容をもれなく本格調査し、3年目のより充実した報告書作成につなげるような綿密な調査対応が重要となる。 													

令和7年度 主要事業点検評価表

2 ソフト事業

事業名		生涯学習施設建設事業									
予算科目	会計	01 一般会計			作成部署	生涯学習課					
	款	09 教育費			連絡先(内線又は電話番号) 生涯学習班 81-3907						
	項	05 社会教育費									
	目	01 社会教育総務費									
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)							
	すべての町民が生涯学習に親しむことができるよう整備等に努める。			「集う×憩う」 町民が気軽に立ち寄れる地域交流の拠点 「学ぶ×教える」 多様な学習や芸術文化活動などの生涯学習の拠点 「繋がる×交わる」 既存施設の連携を生み出す地域連携の拠点							
事業の内容	生涯学習施設の基本設計・実施設計の策定。										
事業費等の推移(千円)		R5		R6		R7		根拠法令等			
		決算額	決算額	伸率	決算見込額	伸率	事業開始年度	平成27年度			
直接事業費		0	13,400		180,907	1250.1%	事業実施主体	町			
職員人件費							()				
事業費合計		0	13,400		180,907	1250.1%	事業実施手法	直営			
財源内訳	国県支出金						事業の実績		単位	R6実績	R7実績
	地方債						経費	千円		13,400	180,907
	その他特財						中井町の人口	人		8,912	8,861
	一般財源	0	13,400		180,907	1250.1%					
担当職員	職員数	0.00人		1.00人		1.00人					
	嘱託・臨時	0.00人		0.00人		0.00人					
成果指標		事業の成果を測る指標		指標設定の考え方		単位	実績指標値		目標指数		
区分						R6	R7	設定年度	設定指数		
①	児童生徒1人あたりの単位コスト (事業費 / 人数)		児童生徒1人当たりに対する事業費を示す。		円	1,504 (13,400,000 / 8,912)	20,416 (180,907,000 / 8,861)		目標指数の設定は困難		
②	町民1人あたりのコスト (事業費 / 中井町の人口)		町民1人あたりが事業費に負担している金額を示す。		円	1,504 (13,400,000 / 8,912)	20,416 (180,907,000 / 8,861)		目標指数の設定は困難		
事業開始からの状況変化						近隣地方公共団体の類似事業の状況					
生涯学習施設建設事業について、これまで町民の学習・文化・スポーツ活動の場として、また、多世代・多文化の人々が集い、互いの活動や交流をとおして憩える拠点と施設の整備に向けて検討を重ねてきましたが、議会や町民から事業の進め方や計画内容に対し、慎重なご意見や再考を求める声が数多く寄せられたことから、事業のあるべき姿を検討するため「生涯学習施設建設等検討委員会」を立ち上げ検証していくこととなった。						規模の大小はあるが生涯学習施設を設置している市町村は多い。					
評価項目		自己評価				教育委員評価					
妥当性(有効性)	3/5	生涯学習施設建設事業について、これまで町民の学習・文化・スポーツ活動の場として、また、多世代・多文化の人々が集い、互いの活動や交流をとおして憩える拠点と施設の整備に向けて検討を重ねてきましたが、町民への周知が行き届いていない部分があった。				町民からの理解ある生涯学習施設の建設推進事業は不可欠である。わいがやサロン等を開催し、広く町民から意見を聞こうという姿勢が見られたものの、十分な議論ができず、期限ありきのスケジュールであると町民に感じさせてしまった。建設には慎重な意見も多く上がったことから、今後は検討委員会において、町民の思いに寄り添いながら丁寧に検証し、予測される社会の流れに対応した建設事業を引き続き推進していただきたい。					
達成度	3/5										
効率性	4/5										
総合評価		B (A.B.C三段階評価)									
これまでに実施した改善点	施設整備の礎になる、基本構想・基本計画を作成するにあたり、町民のみなさまの意見を集約するため町民が誰でも参加できるワークショップを開催してきた。										
今後実施すべき改善点	町民や議会に対ししっかりと情報提供をしながら、生涯学習施設等検討委員会で検討を進めていく。										

令和7年度 主要事業点検評価表

2 ソフト事業

0
0
0
0

事業名		防球ネット設置事業					
予算科目	会計	01 一般会計			作成部署	生涯学習課	
	款	09 教育費			連絡先(内線又は電話番号)	生涯学習班 81-3907	
	項	06 保健体育費					
	目	02 スポーツ振興費					
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	施設の利用者及び周辺住民			施設利用者の利便性の向上と周辺住民等の安全確保のため整備を実施した。			
事業の内容	防球ネット(H=10m)の設置 L=118.5m 両開き金網門扉(H=2.0m、W2.0m)の設置						
事業費等の推移(千円)		R5	R6		R7		根拠法令等
		決算額	決算額	伸率	決算見込額	伸率	事業開始年度 令和3年度
直接事業費		0	0		11,550		事業実施主体 町
職員人件費							()
事業費合計		0	0		11,550		事業実施手法 直営
財源内訳	国県支出金				1,308		事業の実績 単位 R6実績 R7実績
	地方債						経費 千円 0 11,550
	その他特財				7,626		中井町の人口 人 8,912 8,861
	一般財源	0	0		2,616		
担当職員	職員数	0.00人	0.00人		1.00人		
	嘱託・臨時	0.00人	0.00人		0.00人		
成果指標							
区分	事業の成果を測る指標		指標設定の考え方		単位	実績指標値 R6 R7	
						目標指数 設定年度 設定指数	
①	児童生徒1人あたりの単位コスト (事業費 / 人数)		1人当たりに対する事業費を示す。		円	() ()	目標指数の設定は困難
②	町民1人あたりのコスト (事業費 / 中井町の人口)		町民1人あたりが事業費に負担している金額を示す。		円	0 1,303 (0) (11,550,000) (8,912) (8,861)	目標指数の設定は困難
事業開始からの状況変化				近隣地方公共団体の類似事業の状況			
令和3年度に一部防球ネットを設置したが、設置されていない箇所が大半を占めており、当該グラウンドの球技利用の際、ボールがグラウンド外に飛び出すことが頻発している。				多くの自治体では、球技利用ができるグラウンドについては、グラウンド外にボールが飛び出さないよう対策が取られている。			
評価項目	評点	自己評価			教育委員評価		
妥当性(有効性)	5/5	防球ネットが、設置されていない部分が大半を占めていたが、スポーツ振興くじ助成金や神奈川県自治基盤総合補助金を使用し整備することができた。			各種補助金を使用し前面に防球ネットを設置したことは大変評価できる。今後は、利用料とともに、グラウンド使用率の向上も図っていただきたい。		
達成度	5/5						
効率性	4/5						
総合評価		A (A.B.C三段階評価)					
これまでに実施した改善点	令和3年度に一部防球ネットを設置						
今後実施すべき改善点	グラウンド環境も整いつつあるため利用料についても今後検討をする						

令和7年度 主要事業点検評価表

2 ソフト事業

事業名		施設予約システム導入事業					
予算科目	会計	01 一般会計		作成部署	生涯学習課		
	款	09 教育費		連絡先(内線又は電話番号)	生涯学習班 81-3907		
	項	06 保健体育費					
	目	02 スポーツ振興費					
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	施設の利用者及び施設管理人			貸出施設の使用申請、支払、鍵等の受け渡し・返却について、オンライン、非対面で完結できる予約システムを導入する。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間申請可能 ・来庁しての予約手続きが不要 ・キャッシュレス決済の導入 ・受付・台帳管理のシステム化 						
事業費等の推移(千円)		R5	R6		R7		根拠法令等
		決算額	決算額	伸率	決算見込額	伸率	事業開始年度 令和7年度
直接事業費		0	0		5,005		事業実施主体 町
職員人件費							
事業費合計		0	0		5,005		事業実施手法 直営
財源内訳	国県支出金				4,268		事業の実績
	地方債						中井町の人口
	その他特財						経費
	一般財源		0	0		737	
担当職員	職員数	0.00人	0.00人		1.00人		
	嘱託・臨時	0.00人	0.00人		1.00人		
成果指標							
区分	事業の成果を測る指標		指標設定の考え方		単位	実績指標値	
						R6	R7
①	児童生徒1人あたりの単位コスト (事業費 / 人数)		1人当たりに対する事業費を示す。		円	()	()
②	町民1人あたりのコスト (事業費 / 中井町の人口)		町民1人あたりが事業費に負担している金額を示す。		円	#DIV/0! (0)	#DIV/0! (5,005,000)
事業開始からの状況変化				近隣地方公共団体の類似事業の状況			
これまで施設によっては神奈川県で共同調達していたオンライン申請を利用していたが、今回導入したシステムで施設によって異なっていた団体登録人数や抽選スケジュールなど運用を統一し新しい予約システムを導入した。				神奈川県の共同システム(e-kanagawa施設予約ポータル)を12市町で導入し運用をしている。			
評価項目	評点	自己評価			教育委員評価		
妥当性(有効性)	5/5	施設ごとに異なっていた運用申込手続きのルールを統一したことや24時間申請可能、来庁不要、キャッシュレス決済等の利用者の利便性の向上や受付や台帳のシステム化、会計処理の軽減等の職員事務の効率化が図れた。スマートロックの導入も行い、利用者の利便性の向上を図った。			申し込みの申請や支払いを自宅からすべて申請できるようにしたことは大変評価できる。今後は、使用率の向上も図っていただきたい。		
達成度	5/5						
効率性	4/5						
総合評価		A (A.B.C三段階評価)					
これまでに実施した改善点	運用の統一化等						
今後実施すべき改善点	導入後間もないためこれから検証していく。						